

佐野市景況レポート

令和5年10～12月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

業況感の厳しい中、景況改善がめぶく

【 令和5年10～12月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲23.6、前期（9月期）比+0.3ポイントと、市内事業所の景況感は前期並みでした。

利益DI指数▲34.9（前期比+4.5）、売上高DI指数▲20.8（前期比+4.9）と利益DI指数、売上高DI指数ともに改善しました。一方、原材料・仕入価格DI指数は55.4（前期比▲2.8）、販売価格DI指数は9.6（前期比▲4.3）と原材料・仕入価格指数の下げが低く、交易条件（販売価格指数－仕入価格指数）は悪化しています。

【 令和6年1～3月期 見通し 】

3カ月先の全業種業況DI指数は▲17.6（前期比+4.6）と、業況の改善を予想しています。売上高DI指数▲11.3（前期比+6.1）、原材料・仕入価格指数40.9（前期比▲5.9）、販売価格指数4.7（前期比▲4.1）と、売上高指数は上昇し、販売価格指数と原材料・仕入価格指数は低下する予想しており、3か月後の業況感は改善する見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

厳しい景況コメントが多い中、建設業、飲食業において、景況改善のコメントがみられます。円安等による原材料・仕入価格の上昇による利益減少のコメントが多く寄せられる中、販売価格転嫁による売上増加のコメントもみられます。

全般に厳しい景況コメントが多いが、コロナの影響減少と原材料・仕入価格の異常な高騰の一服により、売上高・利益に改善がみられる企業が一部に出てきました。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績（令和5年10～12月期）		見通し（令和6年1～3月期）	
業 況	▲23.6		▲17.6	
売 上 高	▲20.8		▲11.3	
販 売 価 格	9.6		4.7	
仕 入 価 格	55.4		40.9	
労 働 力	▲26.9		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和5年10～12月期実績）



全業種DI指数▲23.6、前期比0.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業0.0ポイント、②食品製造業▲12.5ポイント、③飲食店▲13.4ポイント、④その他の製造業▲13.6ポイント、⑤機械・金属製造業▲26.5ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和5年10～12月期実績）



全業種DI指数55.4、前期比▲2.8ポイント低下

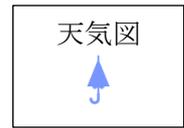
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店93.1ポイント、②食品製造業73.3ポイント、③設備業69.2ポイント、④卸売業67.3ポイント、⑤建設業61.6ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和5年10～12月期実績）



全業種DI指数▲20.8、前期比4.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業 17.0ポイント、②その他の製造業 0.0ポイント、③卸売業▲5.7ポイント、④繊維品製造業▲15.8ポイント、⑤建設業▲18.5ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和5年10～12月期実績）

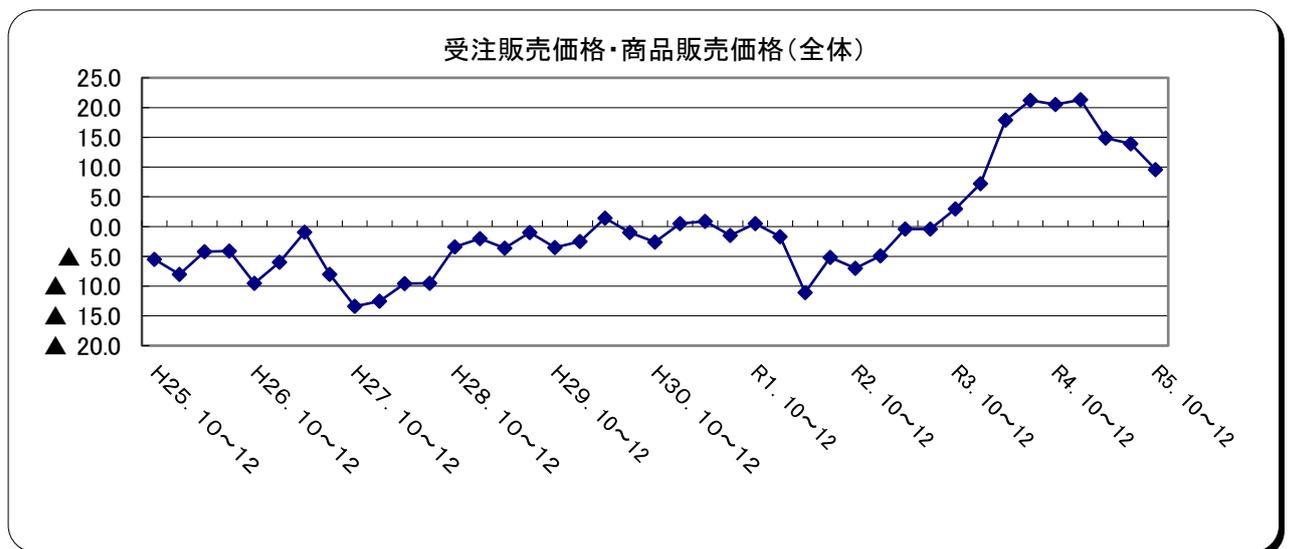


全業種DI指数9.6、前期比▲4.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業 28.3ポイント、②その他の製造業 27.3ポイント、③その他の小売業(大型店含む)24.6ポイント、④食品製造業 23.1ポイント、⑤建設業 14.6ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和5年10～12月期実績）

天気図

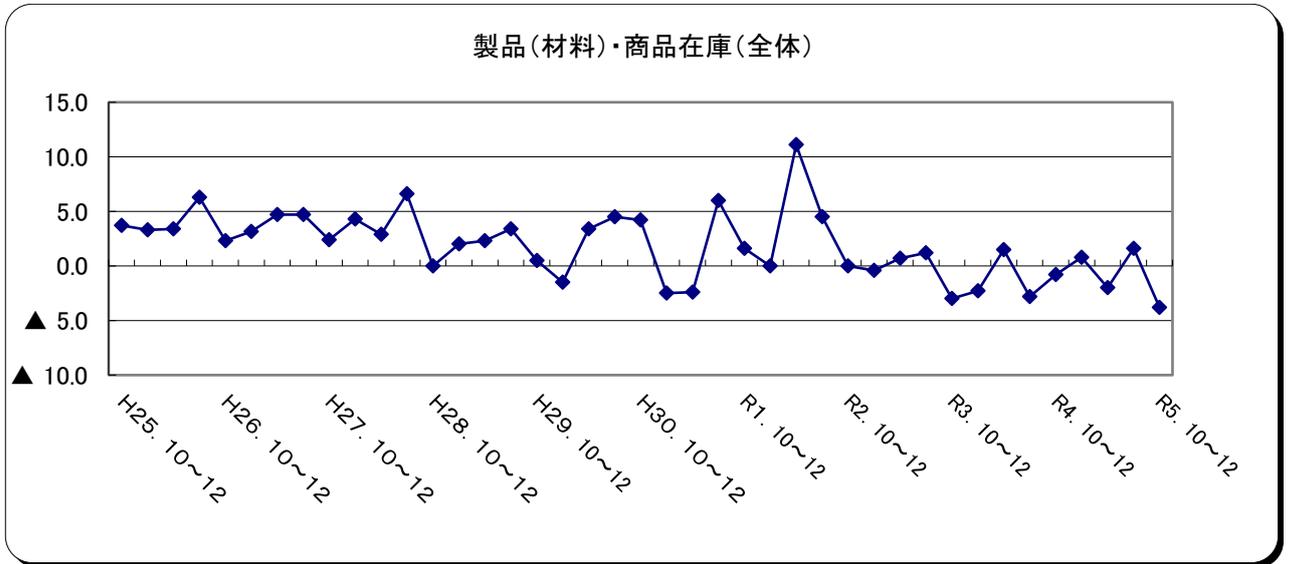


全業種DI指数▲3.8、前期比▲5.4ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 19.0ポイント、②繊維品製造業 15.8ポイント、③建設業 3.5ポイント、④卸売業、小売業(飲・食料品)0.0ポイント、⑤飲食店▲4.1ポイント

過大
↑
↓
不足



☆ 利益状況について（令和5年10～12月期実績）

天気図

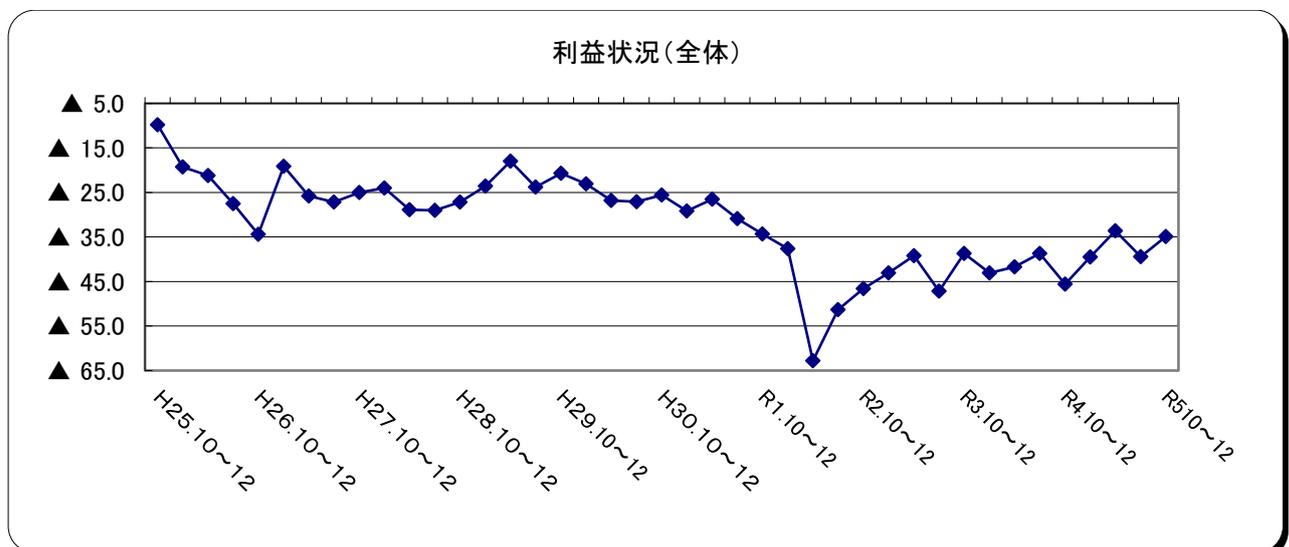


全業種DI指数▲34.9、前期比4.5ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業 0.0ポイント、②その他の製造業▲13.6ポイント、③飲食店▲26.5ポイント、④サービス業▲26.6ポイント、⑤食品製造業▲29.4ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 資金繰りについて（令和5年10～12月期実績）

天気図

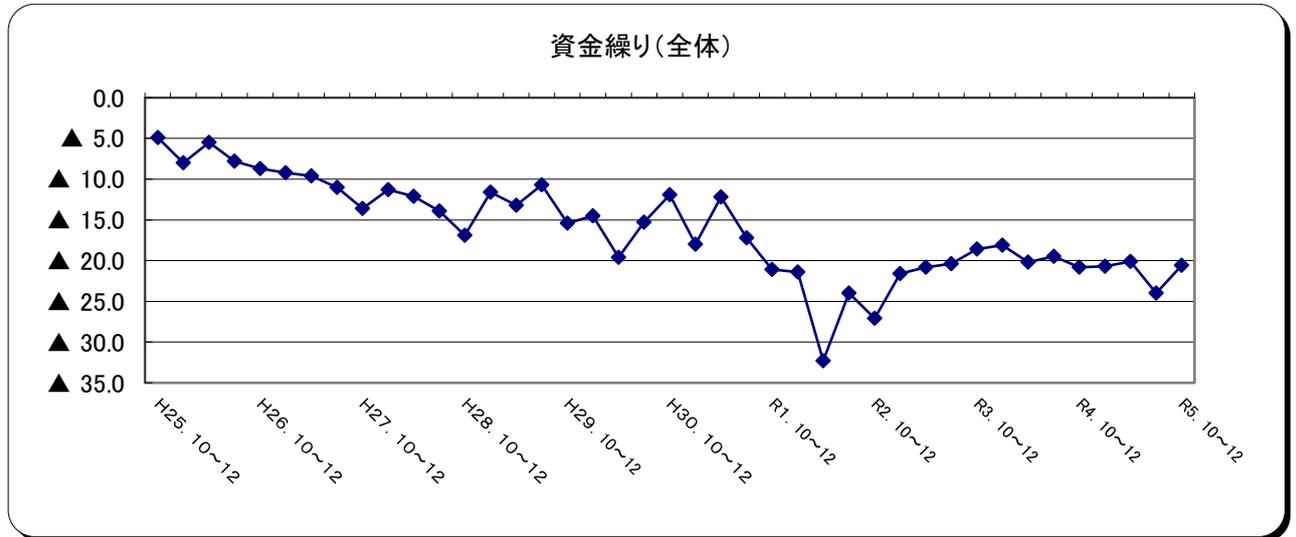


全業種DI指数▲20.6、前期比3.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）0.0ポイント、②建設業▲7.1ポイント、③卸売業▲10.7ポイント、④その他の製造業▲13.0ポイント、⑤設備業▲13.6ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について（令和5年10～12月期実績）

天気図

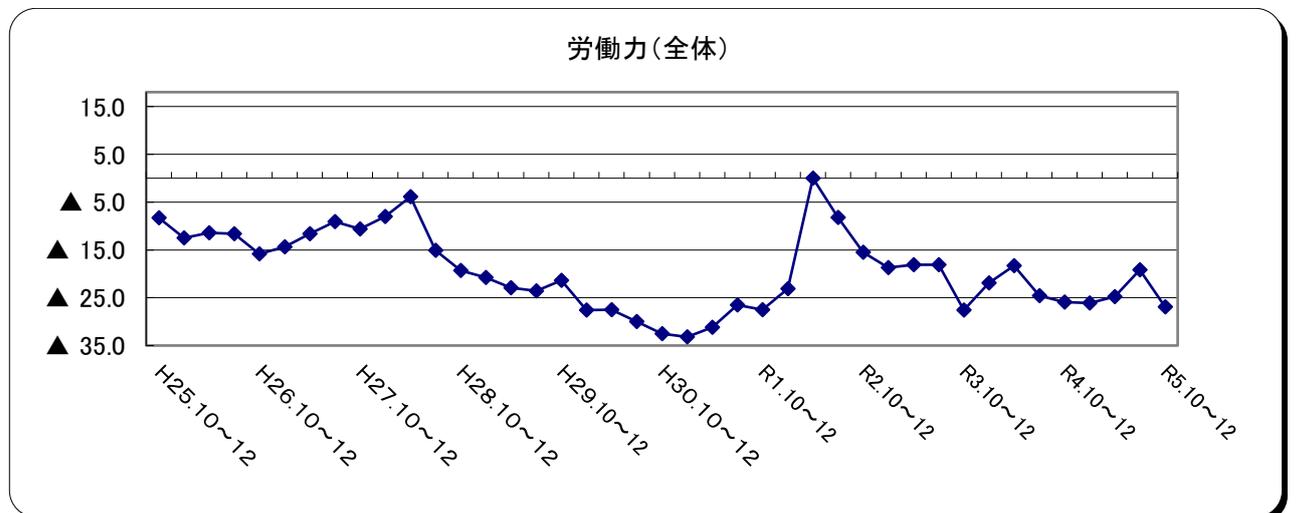


全業種DI指数▲26.9、前期比▲7.7ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業、機械・金属製造業 0.0ポイント、②サービス業▲7.0ポイント、③卸売業▲17.0ポイント、④小売業（飲・食料品）▲20.0ポイント、⑤その他の製造業▲27.3ポイント

過剰
↑
↓
不足

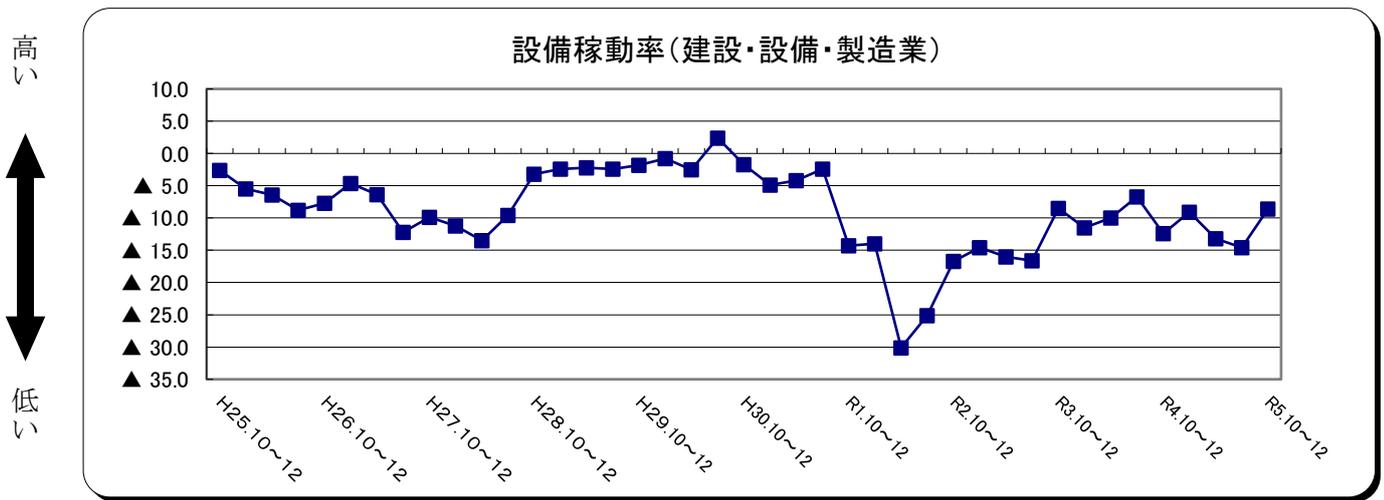


☆ 設備稼働率について（令和5年10～12月期実績）
（建設・設備・製造業関係）



全業種DI指数▲8.6、前期比6.0ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①繊維品製造業、その他の製造業 0.0ポイント、②食品製造業▲5.5ポイント、③設備業▲6.7ポイント、④建設業▲18.5ポイント、⑤機械・金属製造業▲25.7ポイント

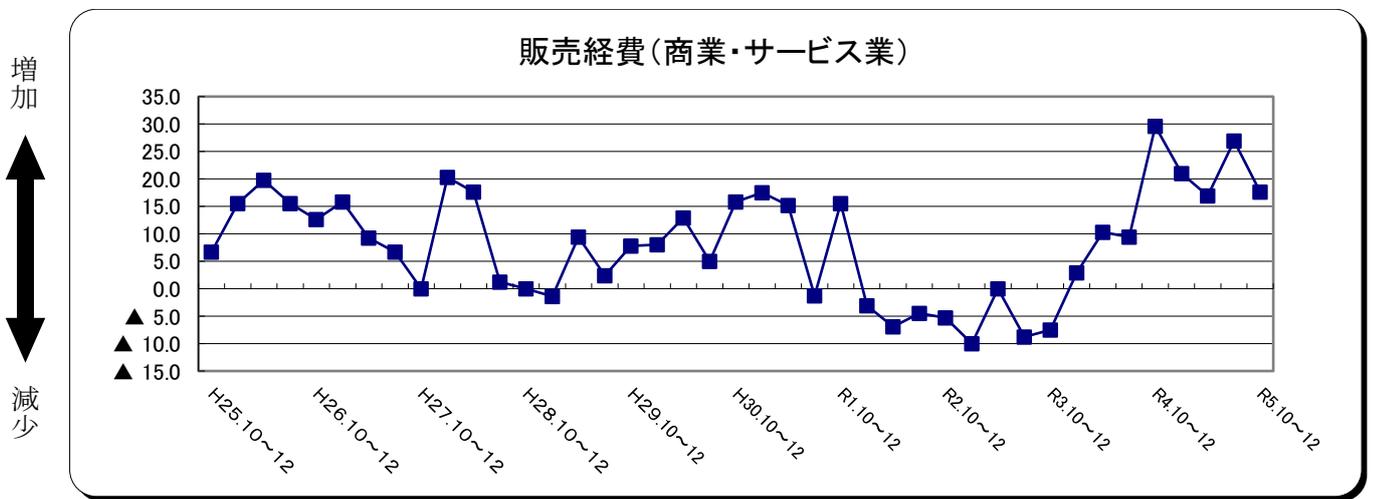


☆ 販売経費について（令和5年10～12月期実績）
（商業・サービス業関係）

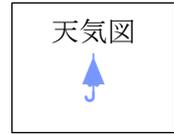


全業種DI指数17.6、前期比▲9.31ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 33.3ポイント、②卸売業 28.3ポイント、③その他の小売業(大型店含む) 14.8ポイント、④小売業(飲・食料品) 10.3ポイント、⑤サービス業 3.6ポイント

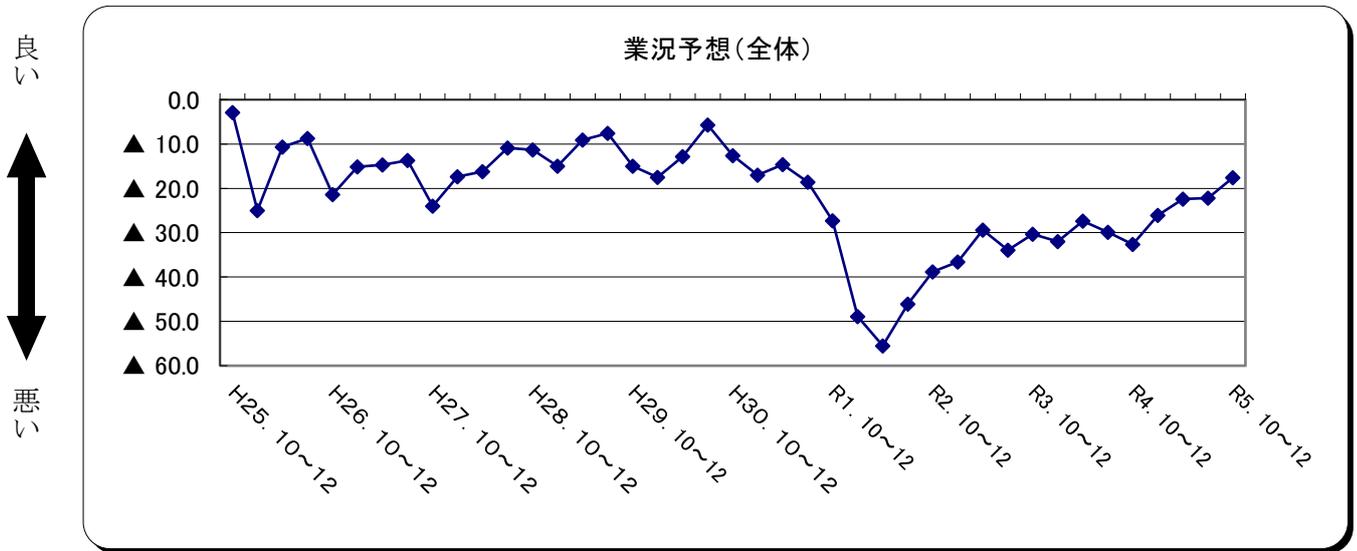


☆ 今後3ヶ月先（令和6年1~3月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲17.6、前期比4.6ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業、食品製造業 0.0ポイント、②飲食店▲8.6ポイント、③小売業（飲・食料品）▲10.3ポイント、④設備業▲13.6ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業▲20.5ポイント

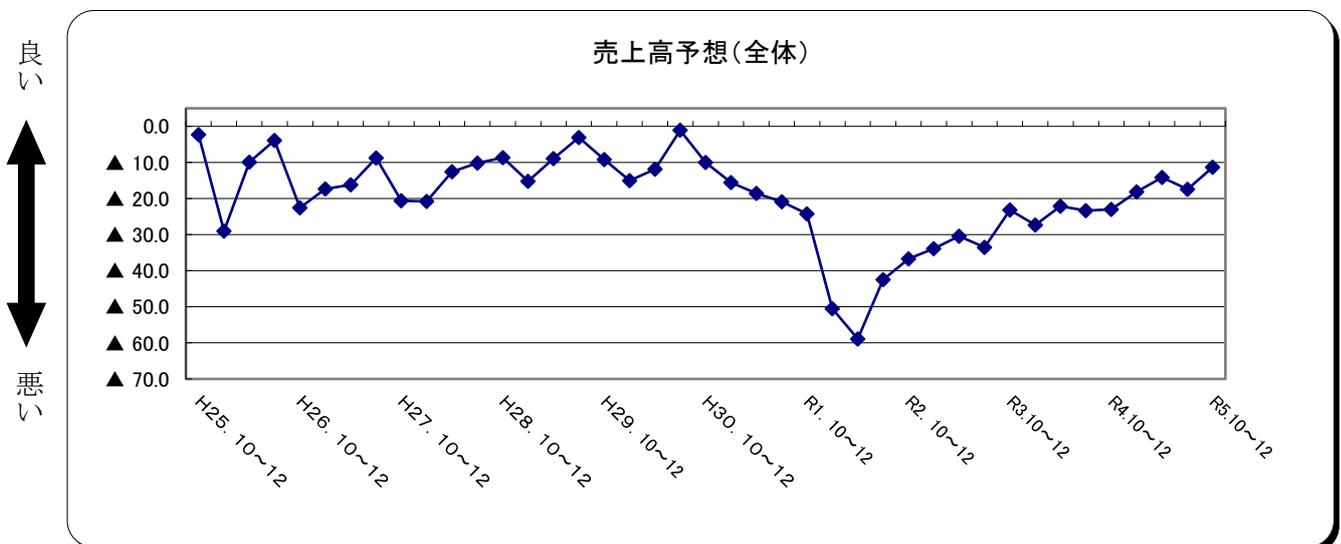


☆ 今後3ヶ月先（令和6年1~3月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲11.3、前期比6.1ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業 19.1ポイント、②その他の製造業▲7.3ポイント、③建設業▲7.5ポイント、④飲食店▲9.1ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲10.3ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和6年1～3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 40.9、前期比▲5.9ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業 69.2ポイント、②飲食店 67.7ポイント、③食品製造業 65.2ポイント、④建設業 52.0ポイント、⑤その他の製造業 51.2ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和6年1～3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

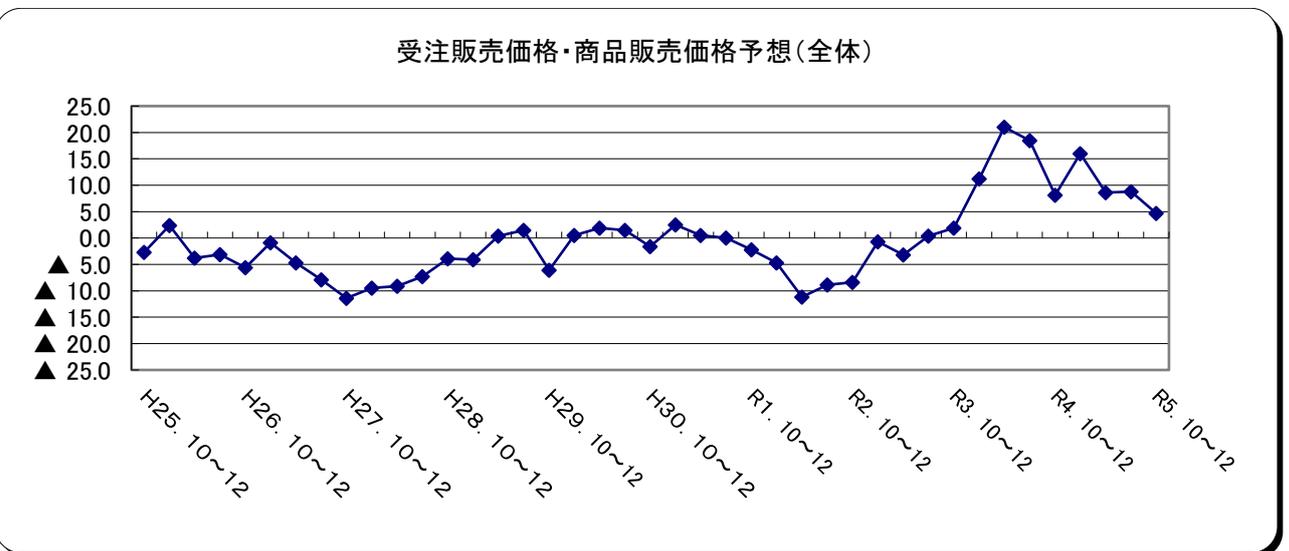


全業種DI指数 4.7、前期比▲4.1ポイント低下

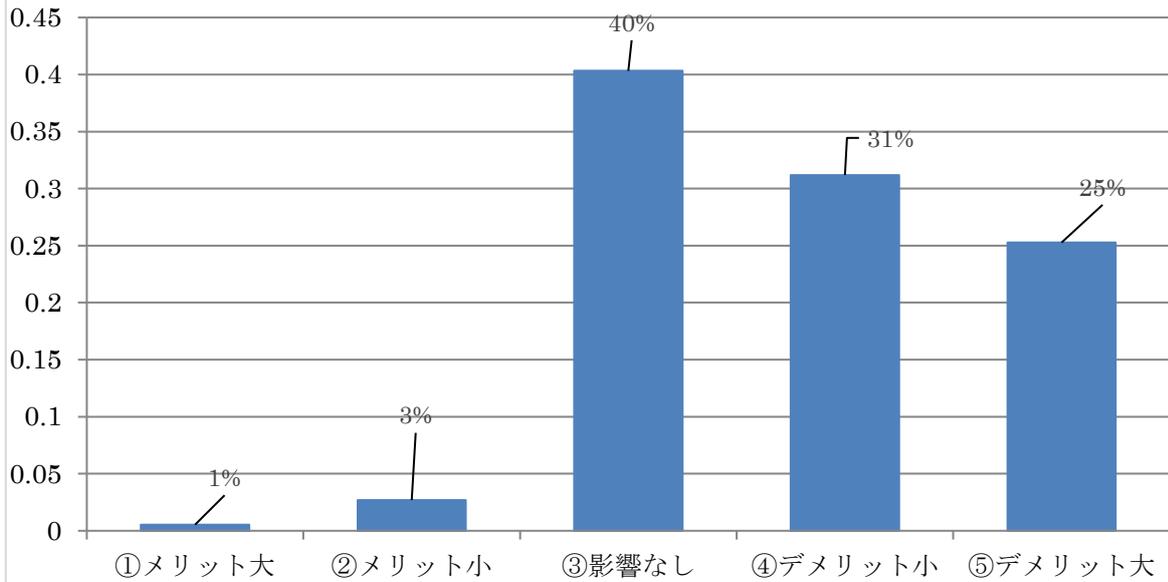
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 27.3ポイント、②その他の小売業(大型店含む) 14.3ポイント、③卸売業 10.7ポイント、④小売業(飲・食料品) 9.7ポイント、⑤食品製造業 5.5ポイント

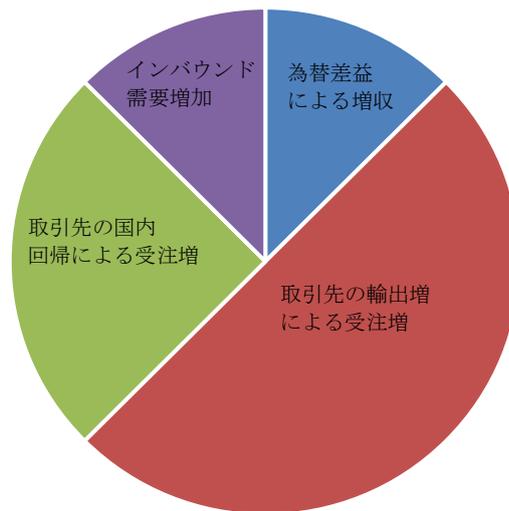
上昇
↓
下落



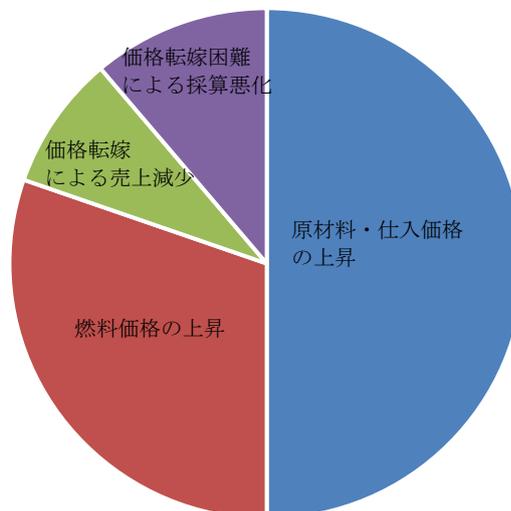
円安の影響について



①②メリット 大・小 (複数回答有)



④⑤デメリット 大・小 (複数回答有)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・多少動きが良くなってきているので、年度末に期待したいです。仕入価格の上昇により景気に影響が出ないことを望みます。
- ・従業員が不足している。仕事の依頼に対応できない。
- ・仕入価格が上がりっぱなしなので、きびしくなっています。自社製品への価格転嫁がむずかしい。
- ・ガソリン代の上昇により経費が上がってしまっている。

設備工事業

- ・人手不足による受注工事等の消化不足。働き方改革、時間外労働の上限規制により労働力の激減。人件費の増加。
- ・製造業、建設業の景気は回復しつつある。

繊維品製造業

食品製造業

- ・これからの年末年始からが忙しくなるように願いばかりです。街中でイベントをやって頂くことでお客様が来るようになりありがたいです。
- ・売上については昨今の価格変更の流れで「売上(金額)」増となっているが、その反面「売上(個数)」は減少しており、モノを作ってナンボの製造業としては稼働がおちており悩ましい。
- ・政府が大規模な景気対策を取らないがクソすぎる。消費税減税して消費喚起すれば景気良くなるのに消費税減税を考えない岸田総理はクソすぎる。
- ・インボイス制度がわずらわしい。
- ・売上については昨今の価格変更の流れで「売上(金額)」増となっているが、その反面、「売上(個数)」は減少しており、モノを作ってナンボの製造業としては稼働率が落ちており悩ましい。

機械・金属製品製造業

- ・鉄工関係はもちあい。製材関係は悪い。
- ・10月より販売価格を10%アップしました。
- ・販売単価下落、人件費上昇、購入品費上昇。

化学・プラスチック製品製造業

- ・依然として業況が良くなりません。特に中国向け輸出が回復しません。
- ・設備投資意欲は上がっているが注文に至らない。物件数が減少しているので要注意状況、適正な対応が出来るようにする。
- ・悪く感じる。
- ・原材料価格が高止まりしています。円高になることを期待したい。

その他製造業

- ・仕入価格の上昇により利益率は下がっているが受注は順調。短納期により生産性は上がらない。賃金は上げたいが基礎力である生産性が上がらないと賃金は上げられない。
- ・今回は特にありません。

卸売業

- ・木材関係。ロシア材の輸入価格の高止まり。流通の乱れが深刻な状況にある。

- ・12月は建売物件がかなり少ないです。
- ・売れません。
- ・仕入価格が上がり利益が減った。円安なので輸出が少し多くなったが、人材不足で売上がいまいち上がらない。
- ・注文は増加しているが、円安によって利益が減少しており納品価格も上昇できず厳しい状況が続いております。

小売業（飲・食料品）

- ・体力的に困難になってきています。小売りはなかなかむずかしい時代になってきました。70才過ぎたので無理せずやっています。
- ・現在では現状維持ですが、先行きについては不安あり？現状維持できればと思う。
- ・円安\$高でCBD事業の毎度輸入額が以前より数万円高い。今後は海外旅行も一回でなかなかです。
- ・経費がかかるわりには売上につながらない。

その他の小売業（大型店含む）

- ・採用が募集をかけても中々集まらない。
- ・悪い。
- ・暖冬の為 秋冬物の販売が鈍い。
- ・客数の減少、物価がすべて上がり自分の物を節約している現衆です。
- ・季節性医薬品(呼吸器、セキ止め)薬ジェネリック製造不足で慢性的不足。11月～4月頃迄人員不足。
- ・コロナ以前より悪い状態が続いております。お客が来ません！
- ・毎日売上が減少しています。ハイブリッドの車が多く満タンにすると1000km走るそうです。
- ・コロナ禍の影響により花農家から野菜農家へ変わる農家さんが多く、花材が思ったように手に入らない。輸入花材も大幅に上がってしまい仕入が難しくなっている。配達業部もあるため燃料が高騰するのは大変つらい。
- ・円安なので全部高い。

飲食店

- ・12月から1月にかけて少し人の動きが出てきたように思います。
- ・少しずつですがお客様が戻ってきています。期待して前向きに進めそうです。
- ・コロナ騒動から始まりロシア対ウクライナ戦争とさまざまな要因を受け、小規模事業者には大打撃の応酬の連続とても厳しい状況です。
- ・新店は来年夏になりそうです…。
- ・仕入価格の上昇による価格転嫁がむずかしい。
- ・ランチは少し忙しくなりましたが夜はさっぱりです。忘年会も大口は入らず、もしもの時にと在庫が多くなります。
- ・皆様にはいつもお世話になっています。感謝いたします。
- ・売り上げはコロナ前に戻りつつあるが、原材料・仕入価格の上昇により利益幅が圧迫されているように感じる。
- ・先の見通しがむずかしいので波がありすぎて予想不能です。
- ・大変です。
- ・人手不足と仕入価格上昇がずーと続いています。

サービス業

- ・運送業の2024年問題により物流や運送業界の売上げ減少にもつながってくると思われる。
- ・政府がダメ、10年後が心配。
- ・円安は確実に利益を圧迫。資材の高値はあきらめざるを得なく販売価格の見直し予定です。
- ・工務店、建築会社との連携がとれる窓口を新たに開拓中。

- ・ 苦しいが借入れ返済できていることが、すごいと思う。
- ・ コロナが明けてようやく通常の年末年始、冬を迎えます。良い年度末になることを期待します。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和5年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、186社（回答率64.1%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$D I \text{ 方式は、 } \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所